

連載

みどり再発見

科学と自然の散歩みち

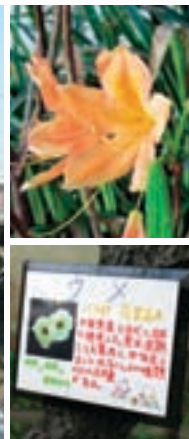


春にはサクラをはじめ、いろいろな珍しいツツジが咲き乱れる妙正寺公園（清水3-21-21）。四季を通して地域住民の憩いの場として賑わっていますが、もう一つ、訪れる人々を楽しませてくれるのが、三年前につくられた『科学と自然の散歩みち』です。杉並区在住のノーベル物理学賞受賞者・小柴昌俊博士の「気持ちよく周遊できる自然のままの遊歩道を」との想いを受けたものだけに、公園を中心に井荻駅方面や妙正寺川沿い、清水森公園など、散歩道は四方へ延びています。どの道もぐるっと一回りでき、しかもその沿道にはたくさんの種類の樹木が植えられ、新緑に紅葉にと自然の移り変わりをゆったりと感じさせてくれます。

とりわけ、早春から初夏にかけてのさわやかな季節には、ウメやツバキに始まり、ボケ、シキミ、アセビ、ジンチヨウゲ、ソメイヨシノ、ハナズオウ、コブシ、ハナミズキ、シモクレン、ハクモクレン、ヤマブキ、ドウダンツツジ、ユキヤナギ、コデマリ、ヤマモモ、サンショウ、オニグルミなどが



順次開花。それぞれの木々には、地元・桃井第五小学校と香掛小学校の子どもたち自身が調べて手作りした開花写真付き樹名板がかけられ、あたかも植物園の中を散歩している気分です。親しく樹木と触れ合うことができます。圧巻は、何といても妙正寺川沿いに約五〇〇メートルも続くシダレザクラの並木でしょう。新たな杉並の桜の名所として、お花見時には多くの人出で賑わっています。



ところで、この散歩道のみどり散策で嬉しいのは、沿道の家々の庭の手入れされた樹木や草花、生け垣などが一体的に観賞できることです。また、保育園や学校に沿ったところでは、四季折々の花が咲く花壇や子どもたち手作りの素朴で微笑ましいモニユメントなどが、心を和ませてくれます。そのような所は特に、付近の道も掃き清められ、地域のみなさんの気持ちや垣間見ることが出来ます。

みどり豊かな遊歩道は、とりもなおさず心豊かな散歩道。「科学と自然の散歩みち」は、地域のみどりと人々の心とふれ合え、すがすがしい気分散歩を楽しむことができます。

## ツバキの剪定と毛虫(チャドクガ)の防除

### ■ツバキの剪定

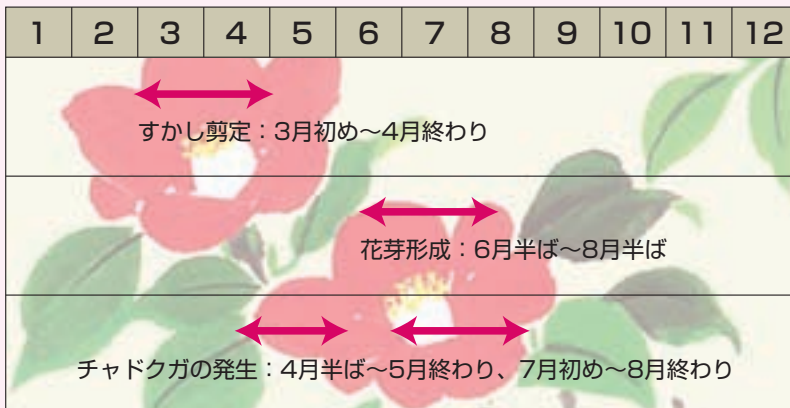
チャドクガの発生しやすい混んだ枝や不要な枝を切り、美しい樹形を作ります。剪定時期は花が咲き終わった3～4月頃で、新しい芽の伸びる前に済ませます。剪定の目安は、どの枝にも小鳥が止まれるくらいがいいでしょう。

### ■毛虫(チャドクガ)

淡黄褐色の毛虫で、黒褐色のこぶが各体節にあります。卵より幼虫、成虫まで毒針毛を持ち、葉裏にかためて産まれた卵で越冬します。年2回発生し(東京では1回目は4月～5月、2回目は7月～8月)、飛散する無数の毒針毛による激しいかゆみなどの皮膚炎を起こします。

### 【防除方法】

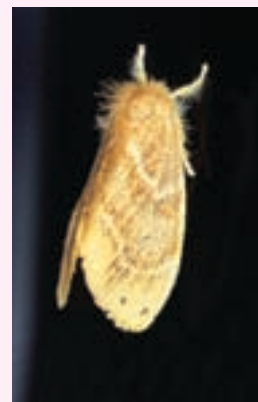
発生初期：被害葉の焼却、摘除、または家庭用スプレー殺虫剤の散布  
中期以降：薬剤防除(マラソン、スミチオン乳剤などの1000倍液散布)



秋に葉裏に産み付けられた卵のう



1箇所に集まって食害を始めた幼虫



成虫のメス(体長約2cmの黄色)



## 「みどりのボランティア杉並」第4期会員を募集します!

緑化のボランティアを考えている方のきっかけの場として、生活者の視点から区内のみどりを

を守り、増やし、育てる活動をしてくださる方を募集します。活動内容は樹木・草花の維持管理、腐葉土づくり、みどりの新聞の編集などです。たくさんのご応募をお待ちしております!

■登録資格/区内在住・在勤・在学の方、または区内に活動場所を希望される方で、次の①②に該当する方

- ①無報酬で活動できる方
- ②みどりに関心を持ちボランティア活動に理解と意欲のある方

■登録期間/平成20年4月～22年3月(2年間)

※登録後は、地域ごとに他の登録者とともに活動をしていただく予定です。

■定員/約150名

■申込方法/ハガキ・ファクス(住所・氏名・連絡先を記入)

で、みどり公園課みどりの計画係へ

■締切/平成20年3月14日(必着)

■問合せ先/みどり公園課みどりの計画係

〒166-8570 杉並区阿佐谷南1-15-1

Tel: 03-3312-2111(代表)

Fax: 03-5307-0697



## 編集後記 「みどりとひと」はみどりのボランティア杉並と協働で編集しています。

- 最近、同じ種類の樹木でありながら姿形や育ち具合の違いに驚かされます。植物って結構“個性”が強いんですね。(羽)
- 暑さも寒さも彼岸まで。さあ、躍動、前進の季節、よく学び、よく遊びの心を持ちたいと決意しました。(中)
- いくつになっても「ひな祭り」は楽しいものです。これからたくさんの花が咲きだし、わくわくします。散歩がおすすめの季節です。(山)

みどりの新聞 みどりとひと143号 平成20年3月5日発行

編集/みどりのボランティア杉並

編集・発行/杉並区都市整備部みどり公園課 〒166-8570 杉並区阿佐谷南1-15-1 ☎ 03-3312-2111

「みどりとひと」は区ホームページでもご覧いただけます。 <http://www.city.suginami.tokyo.jp/>



大豆インク使用。ケナフ100%紙使用。

# 緑の歳時記

杉並区内でよく  
見かける帰化植物

## ハナニラ (花萼) ユリ科

### メキシコ～アルゼンチン原産の多年草

世界各地で観賞用として栽培されています。日本には明治年間に移入され、戸外で植え放しにしてもよく繁殖するため、野生化しています。

全体にニラのような臭いがあり、葉もニラに似ているのでこの名前がつけました。

また、セイヨウアマナ (西洋甘菜) とも呼ばれ、花がアマナ (日本産、東北地方以西に分布) に似ています。葉は長さ10～20cmの線形で、3～4月に葉の間から高さ10cmほどの花茎が伸び直径3cmほどの白色や淡紫色の6弁の花をつけます。英名は早春に星形の花をつけるので、スプリングスターフラワールと呼ばれています。花言葉は「別れの悲しみ」ですが、皆さんならどんな花言葉をつけますか？



### 樹木の適正管理とみんな で樹木を育てること についてのお願い

杉並のまちの状況は昔と大きく変わり、住宅が密集するようになってきた現在、樹木による日陰や落ち葉などで様々な問題が起きています。最近では、何百年と育てられてきた貴重な樹木が伐採され姿を消す事態も起きてきています。樹木も私たちと同じ生き物であり、みんな「地域の貴重な財産」として温かく見守りながら育て、良好な生活環境を維持することが「環境の時代」として重要です。

住宅が密集する環境では、子どもを育てると同じように樹木にも手を掛けてやる必要があります。道に大きくはみ出した枝などは、電線にかかったり通行の妨げなどになります。所有者の方は適正な樹木の管理をお願いいたします。



### 自宅の緑化に役立ててください！

杉並区では、まちのみどりを増やすため、敷地や建物への緑化を行う方へ緑化工事の費用の一部を助成しています。一人ひとりが1本でも樹木を植えて育てる努力をすれば、まちが今よりみどり豊かになり、住みやすい環境が生まれ広がります。ぜひ、緑化助成制度をご活用ください！

#### ■接道部緑化助成

敷地の道に面した部分を緑化する場合、費用の一部を助成します。

|                            |                           |
|----------------------------|---------------------------|
| 既存の塀を取り除いて緑化する             | 既存塀撤去費5,000円/m            |
| 生垣を造る<br>(高さ1.2m以上、3本以上/m) | 緑化費 9,000円/m              |
| フェンスを多年性つる植物で覆う<br>(5株/m)  | 緑化費 2,000円/m              |
| 植え込みや植樹帯を造る<br>(プランターを除く)  | 緑化費 5,000円/m <sup>2</sup> |

#### ■屋上・壁面緑化助成

建物の温度を抑えることや敷地に樹木などを植えるスペースが無いなど、屋根や壁面の緑化をする場合、費用の一部を助成します。

|                 |                       |
|-----------------|-----------------------|
| 建物の屋上や屋根を緑化する場合 | 20,000/m <sup>2</sup> |
| 建物の外壁を緑化する場合    | 5,000/m <sup>2</sup>  |

助成を受けるには、事前に手続きが必要になりますので、まずはお相談ください。

(みどり公園課みどりの事業係 電話:03-3312-2111)

### 阿

してい  
通した  
まった  
また  
力をい  
広がっ



### 井

枝を使  
ちに飾  
リース  
ルは大  
葉に埋  
におい



### 大

き集め  
はふか

# 落ち葉感謝祭 2007

**左谷** 会場 12月16日、中杉通りをJR阿佐ヶ谷駅の南北に分かれ、落ち葉掃きを実施しました。落ち葉掃きをと、「ごろうさま」と声をかけてくださる方も。落ち葉掃きをコミュニケーションは、活動の輪を広げる大きな原動力です。集った落ち葉は腐葉土づくりの材料になりました。

この日は区内の主な公園でも、地域の方々に落ち葉掃きにご協力をいただきました。1万人の落ち葉掃きに向け、活動の輪が少しずつ広がっています。



草木の芽吹きが待ち遠しい季節になりました。夏には涼しい木陰を作り、空気をきれいにしてくれるたくさんのみどり。しかし秋がきて落ち葉になると、邪魔者扱いされてしまいます。そこで葉っぱに感謝し、集めた落ち葉を土に還して新しいみどりへ生まれ変わってもらおうという活動「落ち葉感謝祭2007—1万人の落ち葉掃き—」が、平成19年11月から12月にかけて実施されました。

「落ち葉感謝祭」実行委員会のメンバーを中心に、ボランティアや町会・商店会の方々、区役所職員、また、活動に賛同して下さった小・中学校の取り組みをご紹介します。



**草** 会場 朝1時間の落ち葉掃きを行ったのち、落ち葉や剪定したイベントを実施しました。「おうむの!」と親子で熱中するクリスマス作りも人気ですが、特に落ち葉ブーム人気。いつもは踏みつけている落ち葉もれてみると、落ち葉の肌触り・音・暖かさを全身で体感できます。



**済美** 小学校 済美小学校の4年生と6年生88人が学校のコナラ林の中で落ち葉掃きを行いました。自分の庭の落ち葉を掃く状況がまれになっている現在、学校での落葉掃きは、落ち葉がゴミでないことを学ぶ大切な機会です。



**宮** 中学校 大宮中学校の生徒有志131名が青少年育成委員会主催の地域清掃に参加しました。道路の落ち葉は掃いて雑木林に還します。長年落ち葉が堆積してきた雑木林の地面がふかです。これが林本来の地面の姿ですね。